

# 江東5区における水害避難に関する住民調査の結果

平成29年2月13日

洪水・高潮からの大規模・広域避難検討WG

# 調査概要と回答者の基本属性

調査目的	大規模水害時の避難意向の実態把握
調査対象	20歳以上の江東5区居住者
調査方法	インターネット調査
実施機関	平成29年1月10日(火)～12日(木)
回収数	2,000票 (墨田区211票、江東区304票、 足立区583票、葛飾区374票、江戸川区528票)
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象者は、インターネット調査会社の登録モニターに限定される。</li> <li>● 区別の回収数は、床上浸水人口の比率に基づく。</li> </ul>

荒川(想定最大規模)、または江戸川の浸水想定区域の最大浸水深の平均値が50cm以上(床上浸水)の地域の回答者(1,874票)に限定して集計した結果を示している(右図参照)。

## 居住地

### 回収数

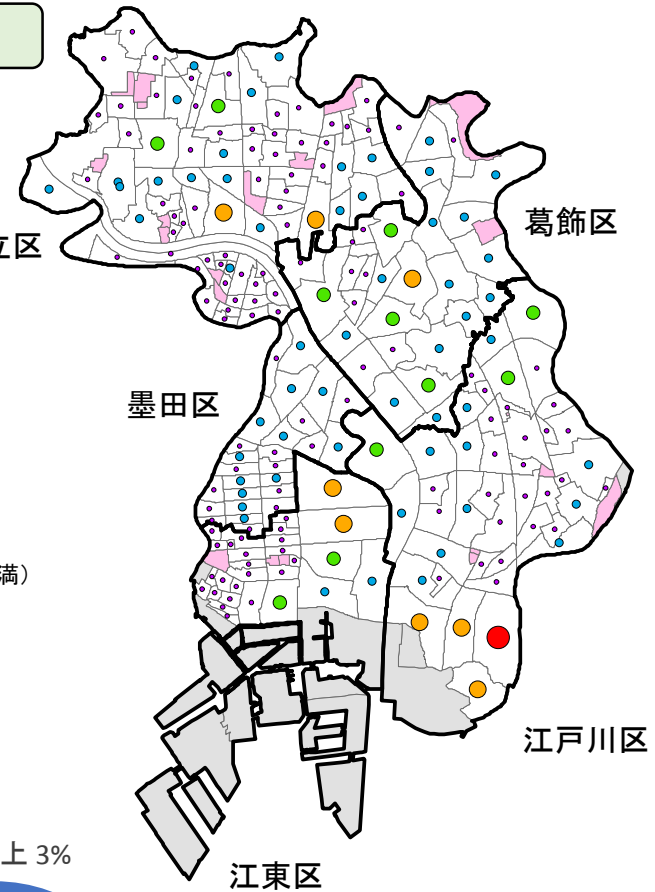
- 1～9 足立区
- 10～19
- 20～29
- 30～39
- 40～

● 回収なし

○ 集計対象外  
(平均浸水深50cm未満)

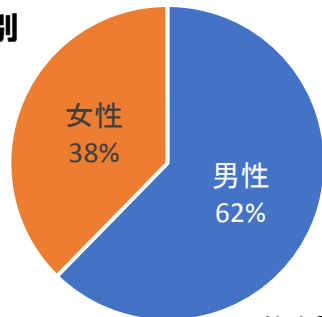
— 区界

— 町域界



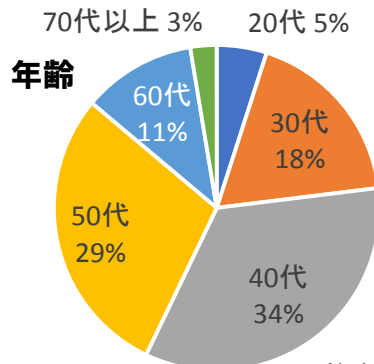
## 性別、年齢、家族人数

### 性別



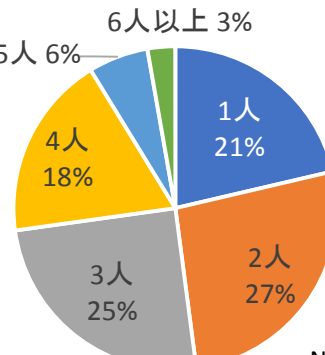
N=1,874

### 年齢



N=1,874

### 家族人数



N=1,874

# 大規模水害時の避難意向の情報提供による変化

## アンケート実施の流れ

避難の意向について調査を実施

情報提示(提示した情報は右の通り)

再度、避難の意向について調査を実施

情報を提示する前後で避難の意向に変化があるかを調査し、的確な情報提供を行うことによる効果を確認

## 情報提示前の大規模水害に関する情報の認知度

### 回答者に提示した情報の内容

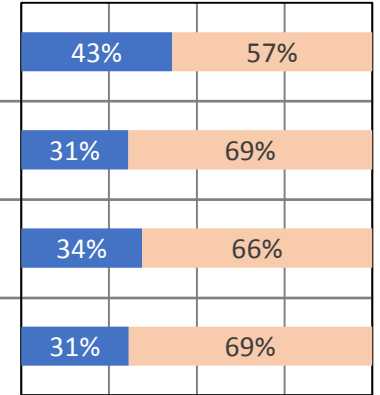
大規模水害時に全ての避難者を滞在させるだけの十分な避難所が江東5区内では確保することができないこと

大規模水害時に自宅に留まった場合、ライフラインが途絶した環境で、数週間から数か月の滞在を強いられる可能性があること

大規模水害からの安全を確保するために域外への避難が求められること

域外への避難には、台風の影響や道路の大混雑を避けるために1日前などの早い段階からの行動が求められること

0% 25% 50% 75% 100%



■ 知っていた ■ 知らなかった

N=1,874

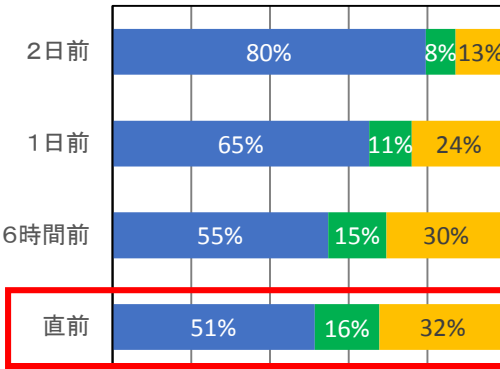
## 大規模水害時の避難意向と情報提示等による変化

- 情報開示後に、「自宅に留まる人」が減少し、江東5区外に広域避難をする人の割合が増加した。
- さらに、域外への避難が求められた場合、74%に増加した。

Q: 巨大台風がお住まいの地域に接近する過程なかで、あなたやご家族は以下の段階で自宅以外の場所に避難すると思いますか。

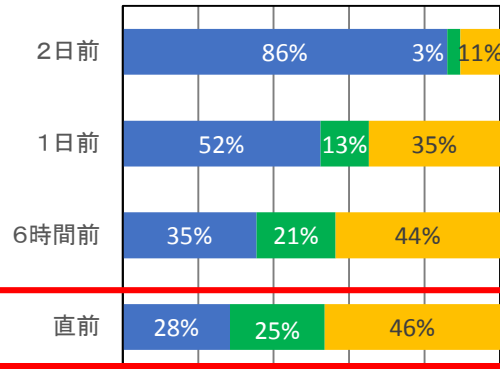
### 情報開示前

0% 20% 40% 60% 80% 100%



### 情報開示後

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 自宅に留まる ■ 江東5区内に避難 ■ 江東5区外に避難 ■ 自宅に留まる ■ 江東5区内に避難 ■ 江東5区外に避難

N=1,874

N=1,874

域外への避難を求めた場合

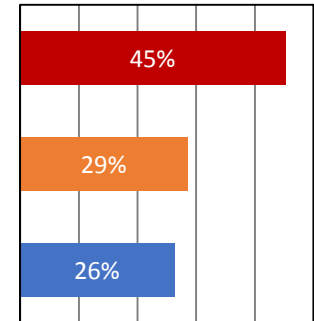
Q: 日中に江東5区外など浸水のおそれの少ない地域への広域避難を求められた場合、あなたやご家族が避難する先として考えられる場所(頼れる場所)はありますか。

0% 10% 20% 30% 40% 50%

行政から指定された広域避難先以外にも考えられる(頼れる)場所がある\*

広域避難先としては行政から指定された広域避難先のみが考えられる

避難先を指定されたとしても広域避難を行うことは考えられない



N=1,684

\* 避難先として江東5区内の住所を回答した人(190票)を除く

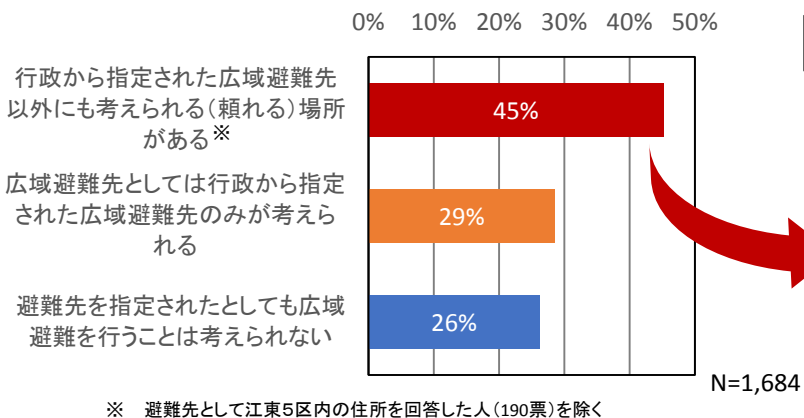
※次ページ以降の調査結果は全て情報開示後のものである

# 域外への広域避難(避難先)

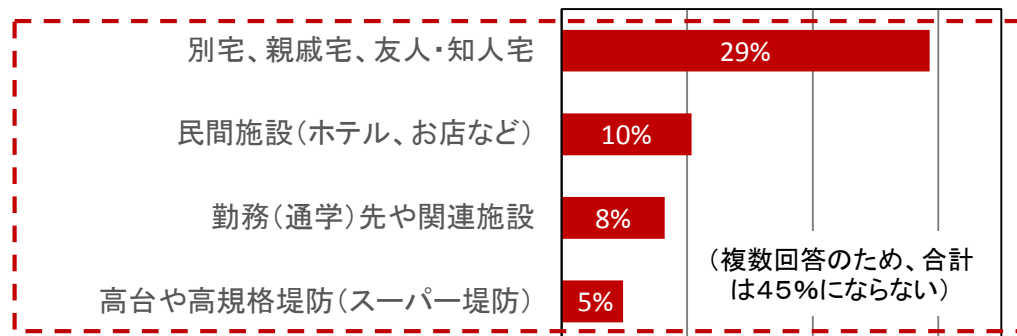
## 域外への広域避難が求められた場合の避難先として考えられる(頼れる)場所の有無と種別

- 域外の避難先として、**行政が指定する施設以外にも考えられる場所がある人が45%存在する。**
  - 第2回WGで提示した「自主避難先に避難する人は50%」は実現性がある
  - 勤務先については、今後呼びかけを行うこと等により増やすことができる可能性がある
- **広域避難を行うことが考えられない人が26%存在する**
  - 第2回WGで提示した、浸水区域内の避難所は浸水区域内の人口の約1割(=18万人/158万人)であり、それより多い

Q: 日中に江東5区外など浸水のおそれの少ない地域への広域避難を求められた場合、あなたやご家族が避難する先として考えられる場所(頼れる場所)はありますか。



### 域外避難先として考えられる(頼れる)場所

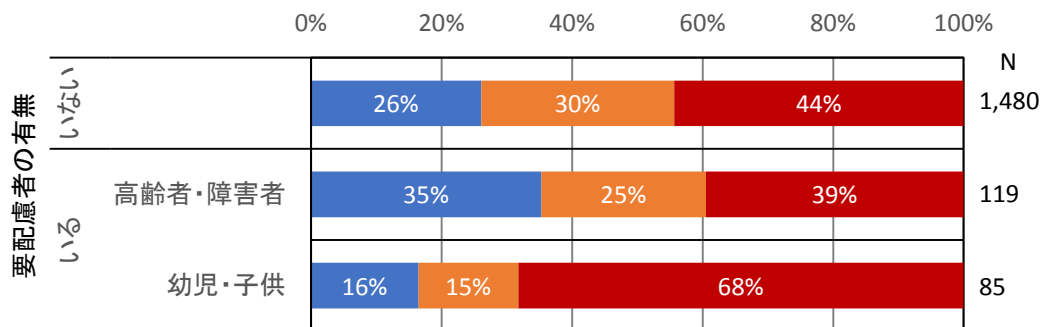


## 要配慮者を持つ世帯が、域外への広域避難が求められた場合の避難先

- **高齢者や障害者がいる世帯は、広域避難を行うことは考えられない人が35%で、その他の世帯よりも多い。**
- **幼児や子供がいる世帯については、広域避難を行う割合が高い。**
  - 第2回WGで提示した要配慮者は約2割(=29.4万人/158万人)
  - 今後、東新小岩七丁目町会において聞き取り調査等を実施し、詳細な分析を実施する予定

Q: あなたも含めご家族の中に、災害時の避難の際、家族や周囲の支援が無いとどうしても逃げられない方はいらっしゃいますか。

Q: 日中に江東5区外など浸水のおそれの少ない地域への広域避難を求められた場合、あなたやご家族が避難する先として考えられる場所(頼れる場所)はありますか。



- 避難先を指定されたとしても広域避難を行うことは考えられない
- 広域避難先としては行政から指定された広域避難先のみが考えられる
- 行政から指定された広域避難先以外にも考えられる(頼れる)場所がある

※ 今回の調査では、高齢者・障害者と幼児・子供を重複して回答している人はいなかった

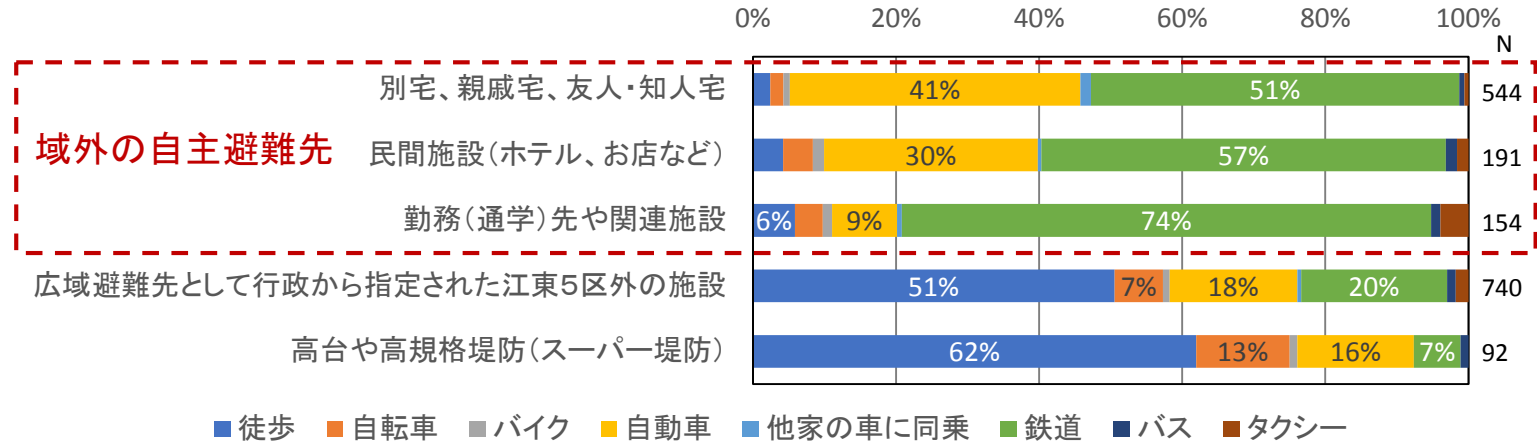
# 域外への広域避難(移動手段)

## 域外避難先の種別ごとの移動手段

※「別宅、親戚宅、友人・知人宅」、「民間施設(ホテル、お店など)」、「通勤(通学)先や関連施設」は、江東5区外の場所を回答している場合のみ集計

- 域外の自主避難先への移動は鉄道が最も多く、5~7割程度の人が利用意向を示している。
- 「別宅、親戚宅、友人・知人宅」や「民間施設」については、車を利用する人も3~4割程度存在している。
- ▶ 今回の調査対象者における自動車の保有率は約5割であり、車を保有している全ての人が車を利用するわけではない

Q: 日中に江東5区外など浸水のおそれの少ない地域への広域避難を求められた場合、あなたやご家族が避難する先として考えられる場所(頼れる場所)はありますか。  
Q: 選択された避難先について、それぞれの移動手段をお答えください。

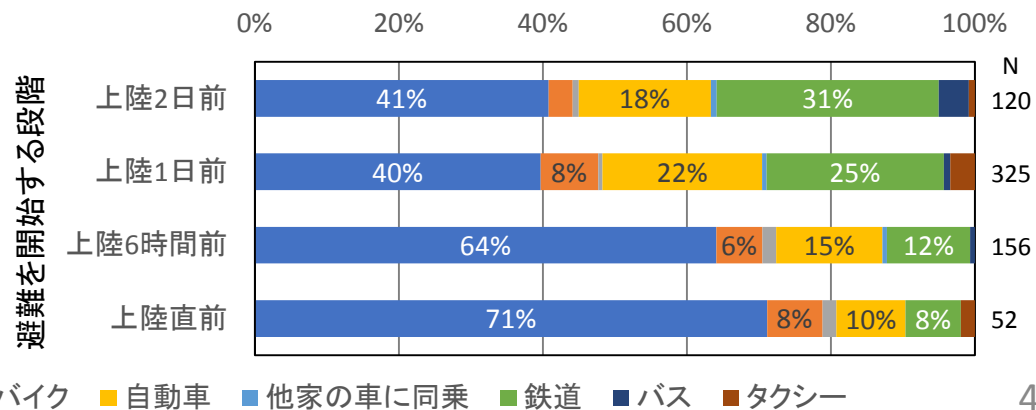


## 避難を開始する段階別の避難手段(行政から指定された江東5区外の施設に避難する場合)

※「広域避難先として行政から指定された江東5区外の施設」に避難する場合のみ集計

- 避難を開始する段階が、台風の上陸に近づくにつれて、鉄道や自動車などの利用意向は低下している。
- 上陸直前の時点においても約2割の人が鉄道や車による避難を考えている。

Q: 巨大台風が接近する過程で、あなたやご家族はどの段階で自宅以外の場所に避難すると思いますか。  
Q: 選択された避難先について、それぞれの移動手段をお答えください。



# 屋内安全確保

## 浸水継続3日以内が想定される場合に、屋内安全確保を要請された場合の対応

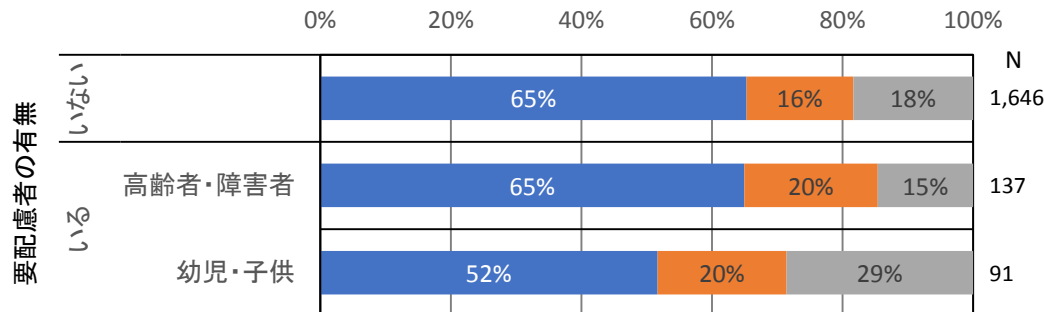
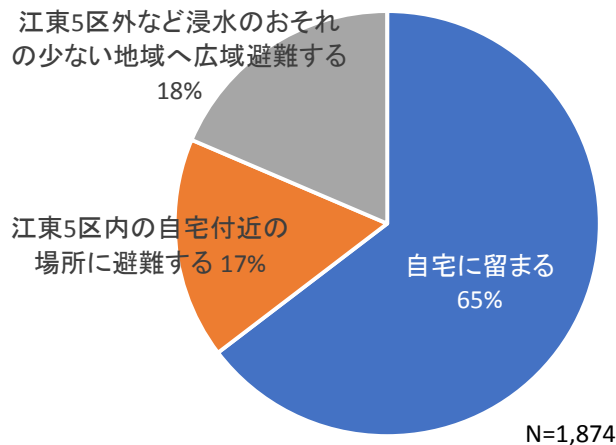
- 浸水継続3日以内が想定され、**自宅待機を要請された場合、65%の人が自宅に留まると回答した。**
- なお、実際に3日以内の浸水が想定される地域の居住者に限って集計しても、割合にほぼ変化なし

Q: 巨大台風の上陸1日前などの段階で広域避難が呼掛けられている状況において、「お住まいの地域は3日程度で水が引くと想定されるため、浸水しても自宅に滞在できる方はそのまま留まってください。」と要請された場合、あなたはどのように行動すると思いますか。

- 幼児や子供がいる世帯については、その他の世帯よりも要請に従い自宅に留まる人が少なく、江東5区外に域外避難する意向を持つ人が多いが、**全体的に大きな傾向の変化はない**

Q: あなたも含めご家族の中に、災害時の避難の際、家族や周囲の支援が無いとどうしても逃げられない方はいらっしゃいますか。

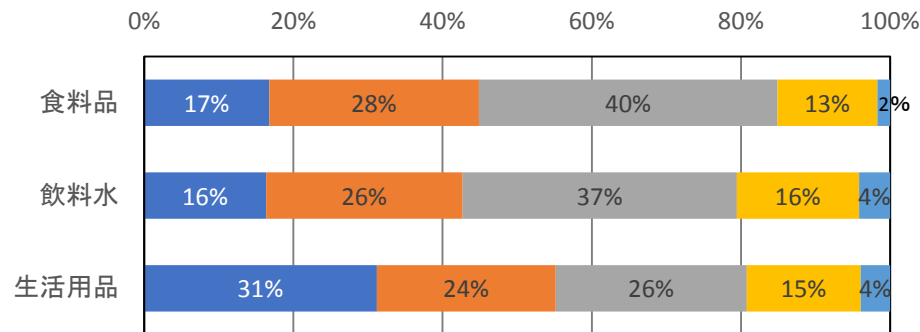
Q: 巨大台風の上陸1日前などの段階で広域避難が呼掛けられている状況において、「お住まいの地域は3日程度で水が引くと想定されるため、浸水しても自宅に滞在できる方はそのまま留まってください。」と要請された場合、あなたはどのように行動すると思いますか。



## 備蓄品

- **食料品を3日以上備蓄している**と回答した人は**55%**だった。
- **飲料水を3日以上備蓄している**と回答した人は**57%**だった。

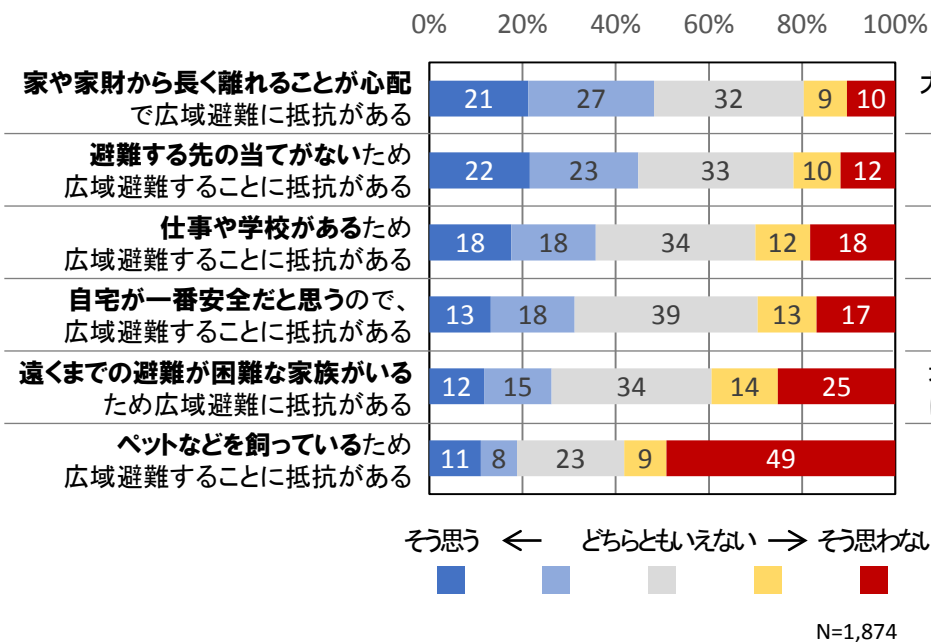
Q: ご家庭では、災害に備えて物資をどれくらい備蓄していますか。



# 域外避難の抵抗要因と促進策

## 域外避難の抵抗要因

Q. 広域避難をためらう次の理由についてどう思いますか



## 域外避難の促進策

Q. 次のような条件が整えば、広域避難が進むと思いますか

